



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月7日

上場会社名 富士機械製造株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 6134 URL http://www.fuji.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部長 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	20,725	9.0	2,825	44.9	2,922	33.6	2,089	36.7
26年3月期第1四半期	19,007	△12.6	1,949	△30.6	2,188	△22.3	1,528	△17.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,374百万円 (△41.6%) 26年3月期第1四半期 4,066百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	21.38	—
26年3月期第1四半期	15.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	139,653	123,844	88.7
26年3月期	135,942	120,794	88.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 123,844百万円 26年3月期 120,794百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	6.00	16.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 4円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	17.6	5,500	84.8	5,600	66.5	3,900	66.1	39.89
通期	75,000	14.4	6,600	118.0	6,800	79.6	4,700	81.3	48.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	97,823,748株	26年3月期	97,823,748株
27年3月期1Q	65,766株	26年3月期	65,534株
27年3月期1Q	97,758,118株	26年3月期1Q	97,760,143株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の2ページを参照して下さい。

(参考)

平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	40,500	20.4	5,200	69.9	5,300	59.7	3,600	50.6	36.83
通期	70,000	16.2	6,300	130.4	6,500	85.6	4,400	77.0	45.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税の影響が見られましたが、景気は緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、中国及びその他新興国では成長率の鈍化が見られたものの、米国においては経済が拡大基調にあり、欧州の景況感も改善してきたことから、全体としては緩やかに回復してまいりました。

このような環境のなかで、当グループは、スピード経営を推進し、市場ニーズに対応した競争力の高い製品開発に取り組むとともに、次世代製品や革新的製品の迅速な開発を推進してまいりました。また、国内外の販売・サービス網の継続的な強化とソリューション営業の推進により、拡販と顧客満足度の向上に努めてまいりました。さらに、世界最適地調達の推進等サプライチェーンの強化によるQCD（品質・コスト・納期）の追求、生産改革によるリードタイムの削減、ならびにグループ会社間の連携を強化することで、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は20,725百万円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて1,718百万円（9.0%）増加いたしました。また、営業利益は2,825百万円（前年同四半期比44.9%増）、経常利益は2,922百万円（前年同四半期比33.6%増）、四半期純利益は2,089百万円（前年同四半期比36.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 1) 電子部品組立機

電子部品組立機事業におきましては、電子機器関連の大手セットメーカーや大手EMS（電子機器受託生産企業）等の稼働状態は概ね高水準に推移し、市場を牽引するスマートフォン、タブレット関連の新規設備投資が上向く等、緩やかな回復が見られました。この結果、売上高は18,526百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて1,355百万円（7.9%）増加し、営業利益は3,769百万円（前年同四半期比32.0%増）となりました。

## 2) 工作機械

工作機械事業におきましては、売上高は1,999百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて256百万円（14.7%）増加いたしました。また、営業損益は258百万円の損失（前年同四半期：営業損失201百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、連結総資産合計は受取手形及び売掛金の増加等により前連結会計年度末と比べて3,711百万円増加し139,653百万円となりました。また、連結負債合計は支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末と比べて661百万円増加し15,809百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて5,709百万円減少し44,949百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは659百万円の支出（前年同四半期：7,247百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加等のマイナス要因が税金等調整前四半期純利益等のプラス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,272百万円の支出（前年同四半期：2,012百万円の支出）となりました。これは主に有価証券取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは562百万円の支出（前年同四半期：1,631百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,957百万円減少し、利益剰余金が1,262百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,888	40,177
受取手形及び売掛金	12,823	18,222
有価証券	4,000	8,000
商品及び製品	4,754	4,631
仕掛品	13,026	14,141
原材料及び貯蔵品	6,889	6,903
その他のたな卸資産	12	12
その他	4,616	4,126
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	92,982	96,187
固定資産		
有形固定資産	19,355	19,096
無形固定資産	5,754	5,515
投資その他の資産		
投資有価証券	17,224	18,246
その他	625	607
投資その他の資産合計	17,849	18,854
固定資産合計	42,959	43,466
資産合計	135,942	139,653
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,434	3,972
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	949	1,081
製品保証引当金	681	729
その他	4,707	5,708
流動負債合計	10,372	12,091
固定負債		
社債	600	600
退職給付に係る負債	2,903	920
その他	1,271	2,196
固定負債合計	4,775	3,717
負債合計	15,147	15,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	103,038	105,804
自己株式	△50	△50
株主資本合計	114,281	117,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,180	5,832
為替換算調整勘定	1,147	825
退職給付に係る調整累計額	185	139
その他の包括利益累計額合計	6,513	6,797
純資産合計	120,794	123,844
負債純資産合計	135,942	139,653

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	19,007	20,725
売上原価	12,018	12,624
売上総利益	6,989	8,101
販売費及び一般管理費	5,039	5,275
営業利益	1,949	2,825
営業外収益		
受取利息	28	29
受取配当金	112	119
為替差益	116	—
雑収入	16	30
営業外収益合計	273	179
営業外費用		
支払利息	13	3
支払手数料	20	4
為替差損	—	72
雑支出	0	1
営業外費用合計	34	81
経常利益	2,188	2,922
特別利益		
固定資産処分益	9	39
負ののれん発生益	19	—
特別利益合計	29	39
特別損失		
固定資産処分損	9	18
その他	—	3
特別損失合計	9	22
税金等調整前四半期純利益	2,207	2,939
法人税、住民税及び事業税	1,142	1,237
法人税等調整額	△455	△387
法人税等合計	687	850
少数株主損益調整前四半期純利益	1,519	2,089
少数株主損失(△)	△8	—
四半期純利益	1,528	2,089



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,519	2,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,503	652
為替換算調整勘定	1,043	△321
退職給付に係る調整額	—	△46
その他の包括利益合計	2,546	284
四半期包括利益	4,066	2,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,044	2,374
少数株主に係る四半期包括利益	22	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,207	2,939
減価償却費	1,133	1,308
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△97
受取利息及び受取配当金	△140	△148
支払利息	13	3
売上債権の増減額 (△は増加)	276	△5,442
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,543	△1,093
仕入債務の増減額 (△は減少)	62	608
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,208	701
その他	965	1,421
小計	7,273	199
利息及び配当金の受取額	140	148
利息の支払額	△14	△0
法人税等の支払額	△152	△1,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,247	△659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△3,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,874	△1,234
有形及び無形固定資産の売却による収入	40	112
投資有価証券の取得による支出	—	△149
定期預金の預入による支出	△24	△22
定期預金の払戻による収入	210	24
子会社出資金の取得による支出	△351	—
その他	△12	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,012	△4,272
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	△1,169	—
配当金の支払額	△462	△562
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,631	△562
現金及び現金同等物に係る換算差額	603	△214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,206	△5,709
現金及び現金同等物の期首残高	47,877	50,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,083	44,949

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,170	1,743	18,913	93	19,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	1	1
計	17,170	1,743	18,913	94	19,008
セグメント利益又は損失(△)	2,855	△201	2,653	△25	2,628

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板受託生産及びソフトウェア開発等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,653
その他の区分の損失(△)	△25
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△679
四半期連結損益計算書の営業利益	1,949

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

昆山之富士機械製造有限公司の完全子会社化に伴う負ののれん発生益19百万円を特別利益に計上しておりますが、当グループの報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であるため、各報告セグメントには配分しておりません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,526	1,999	20,525	200	20,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	0	0
計	18,526	1,999	20,525	201	20,726
セグメント利益又は損失(△)	3,769	△258	3,510	△29	3,480

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板設計製造及びソフトウェア開発等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,510
その他の区分の損失(△)	△29
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△655
四半期連結損益計算書の営業利益	2,825

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 受注及び販売の状況

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	18,146	88.7	17,170	90.3	7,719	62.6
工作機械	2,210	10.8	1,743	9.2	4,552	36.9
その他	105	0.5	93	0.5	66	0.5
合計	20,461	100.0	19,007	100.0	12,338	100.0

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	20,058	84.4	18,526	89.4	11,178	67.3
工作機械	3,445	14.5	1,999	9.6	5,258	31.6
その他	251	1.1	200	1.0	180	1.1
合計	23,755	100.0	20,725	100.0	16,617	100.0

前連結会計年度(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	57,646	84.4	54,744	83.5	9,645	71.0
工作機械	10,002	14.7	10,275	15.7	3,812	28.1
その他	619	0.9	545	0.8	129	0.9
合計	68,269	100.0	65,565	100.0	13,587	100.0

## (2) 地域に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	2,088	9,267	2,833	2,093	709	1,314	701	19,007
構成比(%)	11.0	48.8	14.9	11.0	3.7	6.9	3.7	100.0

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	1,836	10,961	2,668	2,287	583	2,063	325	20,725
構成比(%)	8.9	52.9	12.9	11.0	2.8	9.9	1.6	100.0

前連結会計年度(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	7,769	26,010	11,271	9,368	1,730	6,428	2,988	65,565
構成比(%)	11.8	39.7	17.2	14.3	2.6	9.8	4.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

平成27年3月期 第1四半期決算発表

平成26年8月7日  
富士機械製造株式会社  
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間	43,000	17.6	5,500	84.8	5,600	66.5	3,900	66.1
通期	75,000	14.4	6,600	118.0	6,800	79.6	4,700	81.3

2. 当期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期累計期間	40,500	20.4	5,200	69.9	5,300	59.7	3,600	50.6
通期	70,000	16.2	6,300	130.4	6,500	85.6	4,400	77.0

3. 当期の連結受注高・売上高の予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期 連結累計期間	通期	第2四半期 連結累計期間	通期
電子部品組立機	37,000	64,000	38,000	63,000
工作機械	6,000	13,000	4,500	11,000
その他	500	1,000	500	1,000
合計	43,500	78,000	43,000	75,000

4. 当期の主な科目の連結予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

科目	第2四半期連結累計期間	通期
設備投資額	3,000	5,400
減価償却実施額	2,550	5,100
研究開発費	3,100	6,000